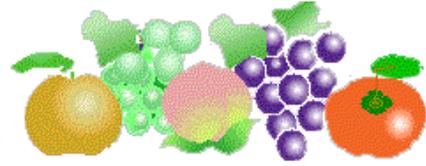


令和4年度 しらかわ果樹情報第11号



令和4年10月7日
福島県県南農林事務所農業振興普及部

1 気象概況（表1）

9月4半旬から6半旬までの平均気温は20.0℃で平年より1.7℃高くなりました。また、この期間の降水量は137.0mmで平年の151.0%と多くなり、**9月5半旬には平年の3倍の降水量となりました。**日照時間は53.0時間で平年の103.9%となりました。

表1 月別気象表（白河市）

平年：1981～2010年

月	半旬	平均気温（℃）			最高気温（℃）			最低気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（hr）		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比（%）	本年	平年	平年比（%）
9	4	22.7	19.4	3.3	27.8	24.0	3.8	18.7	15.7	3.0	35.0	38.9	90	22.0	19.5	113
	5	17.8	18.1	-0.3	22.1	22.8	-0.7	13.9	14.4	-0.5	102.0	34.0	300	11.9	19.5	61
	6	19.6	17.4	2.2	25.2	22.1	3.1	15.5	13.5	2.0	0.0	17.8	0	19.1	12.0	159
平均・合計		20.0	18.3	1.7	25.0	23.0	2.1	16.0	14.5	1.5	137.0	90.7	151.0	53.0	51.0	103.9

2 向こう1か月の天候の見通し（10月1日から10月30日まで）

気圧の谷の影響を受けやすいため、向こう1ヶ月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込みです。週別の気温について1週目（10/8～10/14）は高い確率が50%、2週目（10/15～10/21）は高い確率が50%、3～4週目（10/22～11/4）は平年並か高い確率が40%です。

3 生育概況

（1）果実肥大

「ふじ」の果実肥大は暦日・満開後日数比較ともに、平年より大きい状況です（表2、図1）。

表2 白河管内の果実肥大状況
（10月1日時点）

	ふじ	
	縦径	横径
今年（mm）	77.9	86.8
平年（mm）	74.5	82.2
平年比（%）	105	106
昨年（mm）	73.2	84.7

注）調査地点：白河市本沼

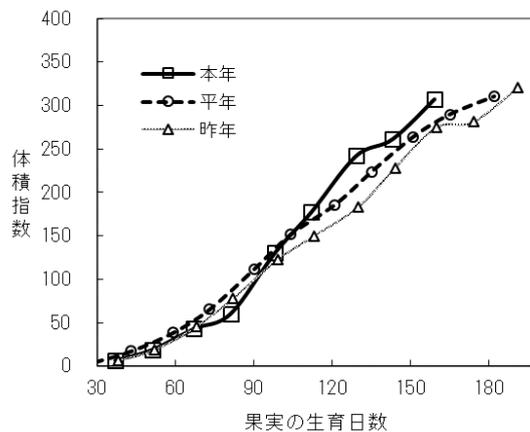


図1 リンゴ「ふじ」の果実肥大経過

4 栽培上の留意点

(1) リンゴ

ア 「ふじ」の収穫前管理・収穫

- ・摘葉、玉回しは遅れないように実施する。
- ・収穫時は、蜜入りの状態に加えて、果実の着色、地色及び食味等により総合的に判断する。

イ 「王林」の収穫

- ・未熟果（緑色果）を収穫すると食味が劣るので、果面全体に果点が浮き上がってきた果実から2～3回に分けて収穫する。**収穫適期は、果皮色が全体に黄色味を帯び、がくあ部付近にやや緑色が残っている状態の時である。**果面から緑色が消えた果実は貯蔵性が低くなるので収穫遅れに注意する。

(2) ブドウ

ア 冬肥

- ・冬肥の施用は、落葉期の11～12月に行う。ただし、秋肥（9月）の施用が未実施の場合は、早急に実施する。「巨峰」成木における年間の施肥の目安（10a当たり成分量）は、**窒素が6kg、リン酸が8kg、加里が8kgであり、窒素は秋肥、冬肥、春肥でそれぞれ2kgである。**樹勢が強い場合は窒素の施用量を減量する。
- ・堆肥等を施用する場合は、その成分量を考慮して冬肥施肥量を調整する。

イ 間伐・縮伐

- ・樹冠が拡大し枝が混み合ってきた場合、早めの間伐や縮伐を実施する。間伐や縮伐は収穫終了直後に行うと良い。**この時期はまだ葉があるため枝の混み具合がわかり、残った枝に良く光が当たるようになり、養分蓄積にも有効である。**

(3) ナシ

ア 「ラ・フランス」の収穫

- ・**収穫が遅れると果肉の内部褐変や粉質化が起こりやすくなるため、収穫基準は表3を参考にし、収穫が遅れないように注意する。**

表3 「ラ・フランス」の収穫適期基準（平成28年度農業総合センター普及成果情報）

生育日数 (日)	地色指数	硬度 (lbs.)	デンプン 指数
160～165	3.0*	11	3.0～3.5

※果実カラーチャート日本ナシ（地色）による

5 病虫害防除上の留意点（使用薬剤は防除暦を参照してください。）

【収穫期に入っているため、薬剤防除は収穫前日数に十分注意しましょう！】

(1) 病害

ア モモせん孔細菌病【秋期防除を効果的に行うために、秋季せん定を行いましょう！】

- ・今後の降雨により新梢への感染が懸念されるため、秋期防除を確実に実施し、越冬菌密度の低下を図る。
- ・防除薬剤は前回から2週間間隔で散布する。

イ ナシ黒星病

- ・秋期防除は、翌年の伝染源となるりん片への感染を予防するのに重要であり、特に、りん片生組織の露出(図2)が多くなる時期が重要な防除時期である(図3)。薬剤散布は、落葉率80%頃を最終散布の目安とし、オーソサイド水和剤80 600倍を10月中旬以降に2週間間隔で3回散布(キャプタンの総使用回数に留意)する。
- ・散布時は、降雨前防除を徹底し、薬液が棚上まで十分量かかるよう丁寧に散布する。
- ・9月29日時点で、果樹研究所内の「幸水」予備枝におけるりん片生組織の露出芽率は10.4%で、過去3年と同程度となっている。今後は、10月中旬頃から露出芽率が増加するものと考えられる。



図2 露出した芽りん片生組織(芽内)

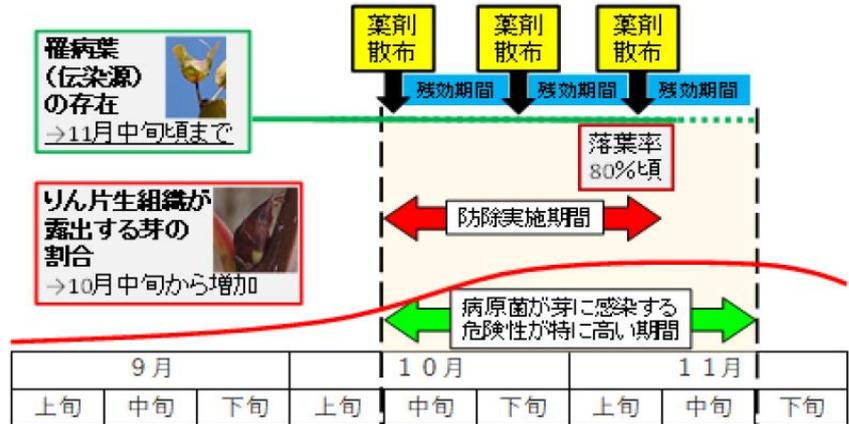


図3 ナシ及び病原菌の生態に基づく秋期防除の考え方

6 生育調査結果(10月1日現在、福島県農業総合センター果樹研究所)

(1) ナシ

ア 収穫状況

- ・「豊水」の収穫盛期は9月15日で平年より2日早かった。
- ・「あきづき」の収穫盛期は9月26日で平年より2日早かった。
- ・糖度は「豊水」が12.6° Brix、「あきづき」が12.8° Brix でどちらも平年並だった(表4)。

イ 成熟状況

- ・「ラ・フランス」の満開後166日(9月29日)における成熟調査の結果は、果実硬度が13.3lbs.で平年より高く、デンプン指数は3.8で平年より高く、糖度は13.2° Brixで平年並であった(表5、図4、5)。

表4 ナシ主要品種の収穫期と果実品質

品種	収穫開始日 (月/日)			収穫盛期 (月/日)			収穫終期 (月/日)			果実重 (g)			糖度 (° Brix)		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
幸水	8/23	8/24	8/16	8/27	8/29	8/21	9/1	9/4	8/26	447	382	413	11.6	12.5	11.6
豊水	9/8	9/12	8/30	9/15	9/17	9/7	9/20	9/24	9/13	513	423	430	12.6	12.9	12.5
二十世紀	9/12	9/17	9/7	9/13	9/21	9/7	9/14	9/25	9/7	507	402	452	10.5	11.1	10.4
あきづき	9/21	9/25	9/15	9/26	9/28	9/18	9/29	10/3	9/21	549	462	514	12.8	13.0	12.5
ラフランス	未	10/4	9/29	未	10/4	9/29	未	10/7	9/29	未	294	332	未	12.9	12.4

注) 平年値は、1991～2020年の平均値。未は未確定。

表5 「ラ・フランス」の成熟状況

調査日 (満開後日数)	硬度 (lbs.)		地色		デンプン 指数		糖度 (° Brix)		リンゴ酸含量 (mg/100ml)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月 2日 (139)	14.2	12.3	2.3	2.6	4.8	4.8	11.3	11.4	0.34	0.25
9月 8日 (145)	13.2	12.0	2.4	2.7	4.6	4.6	11.3	11.6	0.28	0.25
9月 12日 (149)	13.1	11.8	2.8	2.8	4.5	4.3	11.3	11.9	0.26	0.25
9月 16日 (153)	14.0	11.6	3.1	2.8	4.3	3.9	12.2	12.1	0.28	0.23
9月 22日 (159)	13.1	11.1	2.9	3.0	4.2	3.7	12.9	12.6	0.29	0.24
9月 29日 (166)	13.3	10.9	3.2	3.0	3.8	3.2	13.2	13.0	0.29	0.23

注) 平年値は、1995～2021年の平均

注) 西洋ナシのデンプン指数：染色が濃いほど未熟。

指数 1：10%以下染色、指数 2：30%程度染色、指数 3：50%程度染色、

指数 4：80%程度染色、指数 5：100%染色

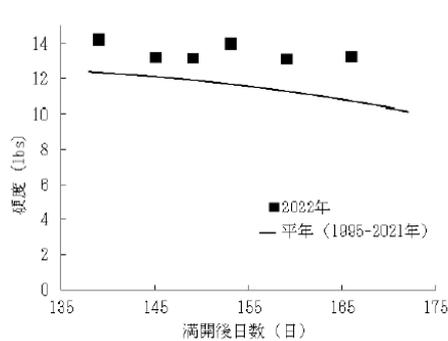


図4 「ラ・フランス」の果実硬度の推移

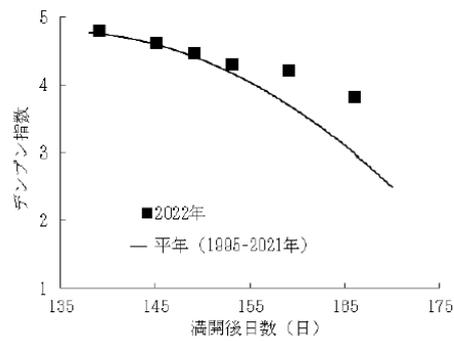


図5 「ラ・フランス」のデンプン指数の推移

(2) ブドウ

ア 「シャインマスカット」の成熟状況 (10月3日、満開後110日現在)

- ・糖度が17.5° Brix、酒石酸含量が0.27g/100mlで、糖酸比が66.0となっている (表6)。
- ・果樹研究所では10月6日に収穫を開始、終了した。

表6 「シャインマスカット」の成熟状況

品種	調査日	満開後 日数	果房重 (g)	1粒重 (g)	糖度 (° Brix)	酒石酸 (g/100ml)	糖酸比
シャイン マスカット	8/30	75	445.8	10.5	14.7	0.53	27.6
	9/12	89	554.2	12.7	15.2	0.44	34.8
	9/21	98	491.8	12.9	16.7	0.44	55.2
	10/3	110	481.1	12.6	17.5	0.27	66.0
(参考)							
R3収穫始	10/11	123	351.0	10.3	16.1	0.30	53.5

(3) リンゴ

ア 「ふじ」の果実肥大

- ・縦径が86.2mm (平年比108%)、横径が90.0mm (平年比104%)で、暦日・満開後日数比較ともに平年よりやや大きい。

イ 「ふじ」の成熟状況（9月29日、満開後157日現在）

- ・果肉硬度が12.3ポンドと平年よりかなり低く、デンプン指数が3.7と平年より高い（図6、7）。
- 未熟でも硬度がかなり低いため、食味を確認して収穫してください！
- ・果皮中のクロロフィル含量とアントシアニン含量は平年より低い（図8、9）。

ウ 「ふじ」の裂果発生状況（9月29日、満開後157日現在）

- ・「ふじ」／マルバ台果実の外部裂果率は20.0%で過去3年間と比較して高く、内部裂果発生率は40.0%と過去3年間と比較して同等から低い傾向がみられた（表7）。

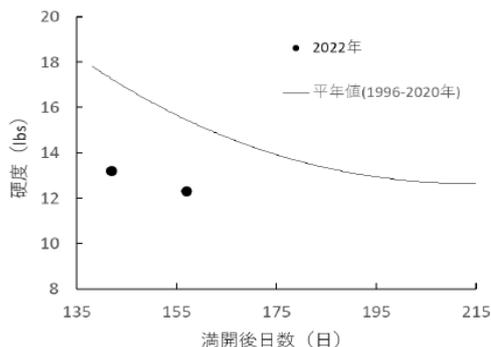


図6 「ふじ」の果肉硬度の推移

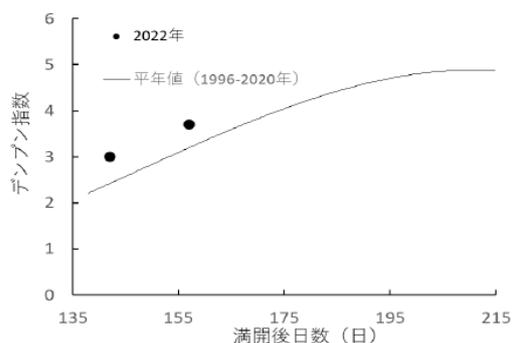


図7 「ふじ」のデンプン指数の推移

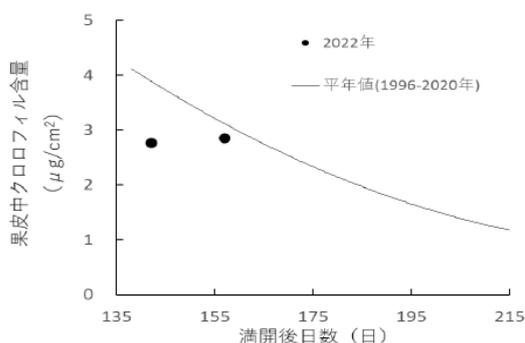


図8 「ふじ」のクロロフィル含量の推移

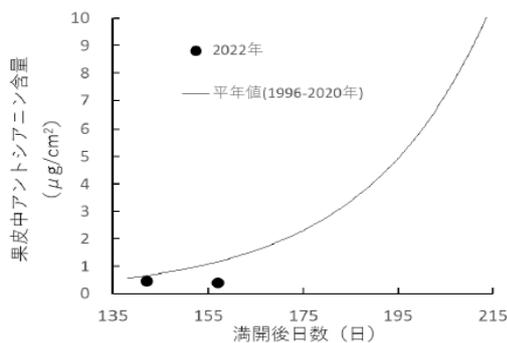


図9 「ふじ」のアントシアニン含量の推移

表7 「ふじ」の裂果発生状況

調査樹	樹齢	外部裂果率 (%)				内部裂果発生率 (%)			
		2022	2021	2020	2019	2022	2021	2020	2019
ふじ/マルバ台	20	20.0	16.7	10.0	13.3	40.0	40.0	53.3	56.7

9月1日～10月31日は秋の農作業安全運動重点推進期間です

安全な農作業のための注意点を確認しましょう。

- 急がず、無理をしない！ ⇒ 余裕を持った作業計画
- 2人以上で作業する！ ⇒ 1人で作業する場合は家族や周囲に行き先を伝える
- 安全な機械操作を心がける！ ⇒ 点検時はエンジンを切る
⇒ 周囲の確認を行う
- 脚立は天板に登らず、雨で濡れている場合は使用に注意する